



精神科シリーズ

第6回

初期研修医 小林 克己
こばやし かつみ

を持ちます。

自閉スペクトラム症

●自閉スペクトラム症とは？

「自閉スペクトラム症」という名前を聞いてどんな病気が分かる方は少ないのでないでしようか。「自閉スペクトラム症」は、発達障害の一種です。発達障害は「生まれつきの特性」であり、「病気」とは異なるとされています。「自閉スペクトラム症」と呼ばれるのは、「自閉スペクトラム」の人たちのうち、「自閉スペクトラム」の特徴そのものや、それに合併する精神的な問題によって生活に支障をきたし、支援を必要とする人たちです。「自閉スペクトラム」と考えられる人は全人口の10%にも上るとされ、そのうちの1割～2割ほどの人が「自閉スペクトラム症」と診断されています。

●特徴は？
では「自閉スペクトラム」と呼ばれるのはどのような人たちでしょうか。「自閉スペクトラム」の人たちは以下の2つの特徴

- ①人との関りやコミュニケーションが苦手である

②自分の関心、やり方、ペースを優先したいという気持ち（こだわり）が強い
①のため、人との距離感がうまくとれなったり、非言語的なコミュニケーション（目を合わせる、など）が苦手であつたりして、一人でいることを好んだりします。②は、具体的には、オタクと呼ばれるような趣味があつたり、いつもの道順にこだわったり、といったことです。視覚や聴覚、嗅覚などの感覚が過敏もしくは鈍感であつたりすることもあります。

自閉スペクトラムの特徴は、1歳半頃から徐々にみられるようになると言われていますが、その程度はさまざまです。学校生活が困難な人もいれば、社会に出て初めて気づかれる人、問題なく生活を送れる人もいます。

環境調整や行動のコントロールの仕方を考える認知行動療法などが主な対応となります。しかし、不安やうつなどの二次的な問題がみられた際には、それらに対する治療が行われます。自閉スペクトラムの人たちは、苦手なこともありますが、得意なこともあります。自閉スペクトラムの人たちがよりよい生活を送っていくには、早期発見や自閉スペクトラムに対する社会的理解、必要な支援が提供できる環境が重要と考えられます。もし、上記のようなことでお悩みの方がいましたら、発達障害者支援センターや医療機関へご相談ください。

精神科・心療内科外来
・新患（予約制・午前）
・再診（予約制）

月曜日～金曜日、第1・3土曜日

ご予約先：0261-62-3166
14時～17時の間にお問い合わせください。

●対応・治療法は？
自閉スペクトラム症に対する薬はなく、